



【問い合わせ先】  
国土交通省 関東運輸局  
千葉運輸支局 企画調整部門  
担当：宮澤  
電話：043-242-7336【5】

【問い合わせ先】  
八街市地域公共交通協議会  
(八街市 総務部 企画政策課)  
担当：山本  
電話：043-443-1114

【配布先】  
千葉県政記者クラブ

平成30年10月22日

## 「バスの乗り方・交通バリアフリー教室」

～2020年の東京オリンピック・パラリンピックを見据え、  
子供たちにバリアフリーについて考え方、体験してもらう～

千葉運輸支局は八街市地域公共交通協議会とともに、八街市立笹引小学校4、5年生56名を対象とした「バスの乗り方・交通バリアフリー教室」を下記のとおり開催します。

この教室は、普段バスに乗る機会の少ない子供たちに「バスの乗り方」等を学んでもらい、公共交通の利用促進につなげるとともに、車いす体験及び視覚障がい者疑似体験を通じて、バリアフリーの大切さやサポートの方法などに対する理解を深め、障がいを抱えた方たちや高齢者に対する気づきや思いやりの気持ちである「こころのバリアフリー」の育成を目的としています。

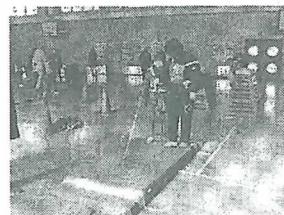
記

- 1 実施月日：平成30年10月31日（水） 9：30～12：00
- 2 実施場所：八街市立 笹引小学校（八街市八街へ199-133）
- 3 対象者：4、5年生56名
- 4 実施主体：八街市地域公共交通協議会、千葉運輸支局
- 5 協力：（社福）八街市社会福祉協議会、八街市教育委員会、（一社）千葉県バス協会、ちばフラワーバス(株)、八街市南部地域包括支援センター
- 6 実施内容
  - (1) バスの乗り方教室 バスの乗降体験 等
  - (2) 交通バリアフリー教室 車いす体験、視覚障がい者疑似体験

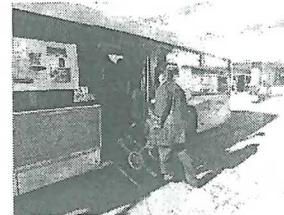
【参考：昨年度開催した八街市立川上小学校での様子（H30.1.26開催）】



車いす利用体験



視覚障がい者疑似体験



車いすによる乗降体験

【その他】

取材を希望される方は、10月30日（火）までに上記問い合わせ先あて、ご連絡ください。

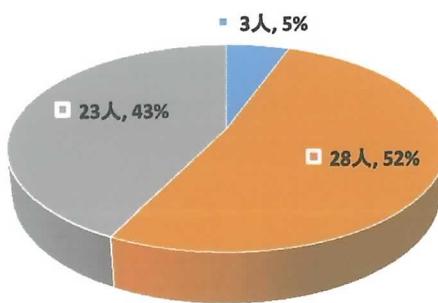
## 「バスの乗り方・交通バリアフリー教室」アンケート結果

- 開催日 平成30年10月31日(水)
- 対象 八街市立笠引小学校4・5年生 参加者総数54名・アンケート総数54名

### ◇ バスの乗り方教室について

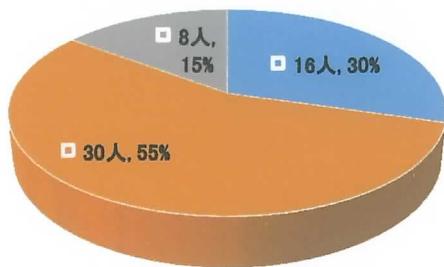


1 今までふれあいバスや路線バスに乗ったことはありますか。



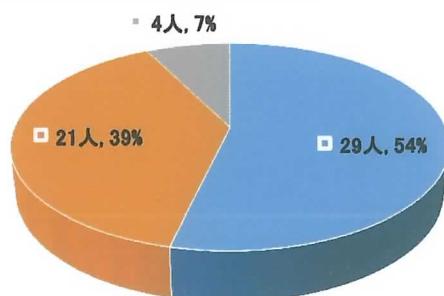
■ 良く乗ります ■ときどき乗ります ■乗ったことはありません

2 バス停でのバスの待ち方、時刻表の見方は分かりましたか。



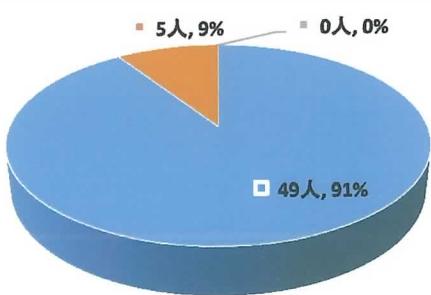
■ 良く分かりました ■ 分かりました ■ 分かりませんでした

3 バスの行き先表示の見方は分かりましたか。



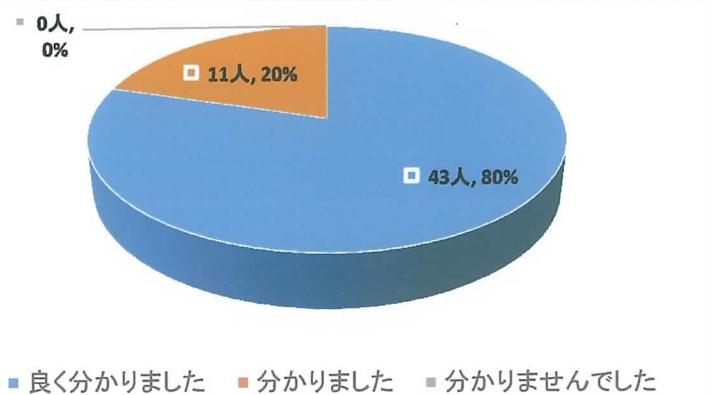
■ 良く分かりました ■ 分かりました ■ 分かりませんでした

4 バス内での座り方、立ち方など安全な乗り方は分かりましたか。



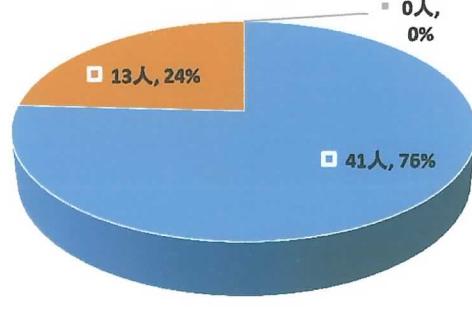
■ 良く分かりました ■ 分かりました ■ 分かりませんでした

5 運賃の見方、支払方法は分かりましたか。



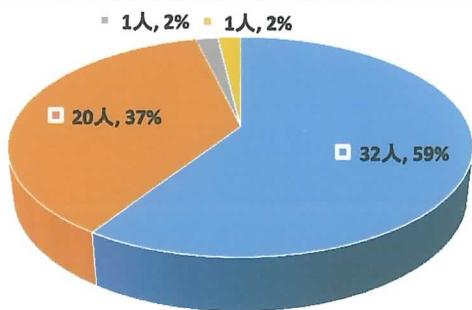
■ 良く分かりました ■ 分かりました ■ 分かりませんでした

6 バスを降りる時のブザーの使い方は分かりましたか。



■ 良く分かりました ■ 分かりました ■ 分かりませんでした

7 今後、バスを利用したいと思いましたか。

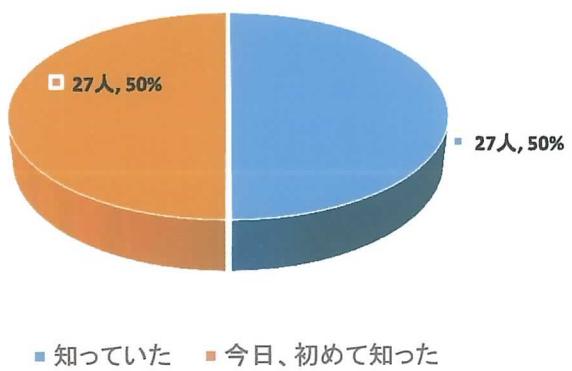


■ 利用します ■ 少し利用します ■ 利用しません ■ 無回答

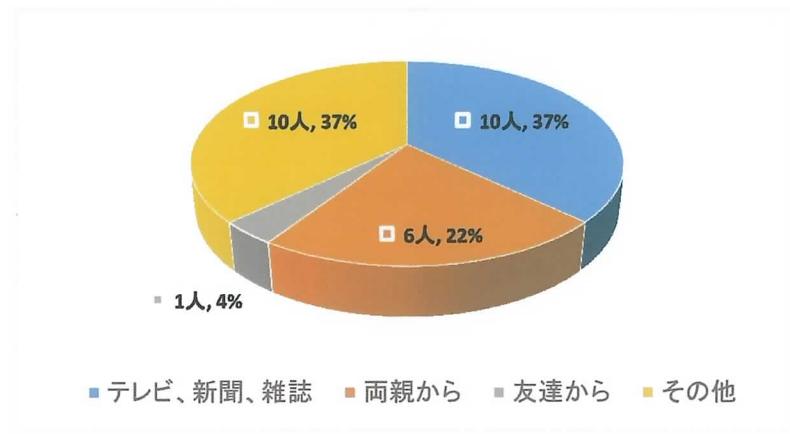
◇ 交通バリアフリー教室について



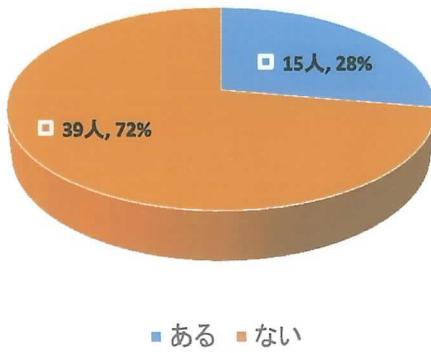
8 「バリアフリー」という言葉を知っていましたか。



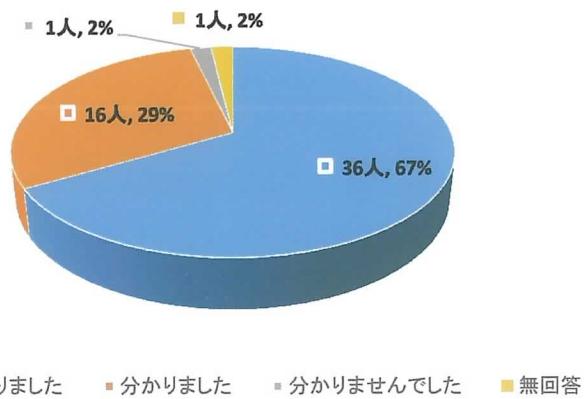
9 8で「①知っていた。」と答えた人に質問です。  
バリアフリーという言葉は、何で知りましたか。



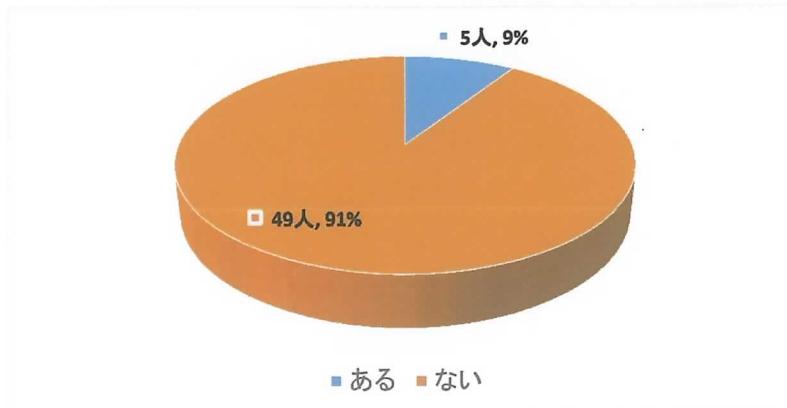
10 今まで、車いす利用者の方をお手伝いをしたことがありますか。



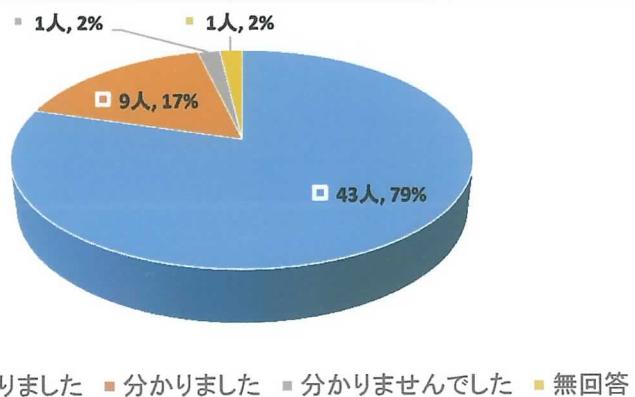
11 車いす利用者の方のお手伝いの方法はわかりましたか。



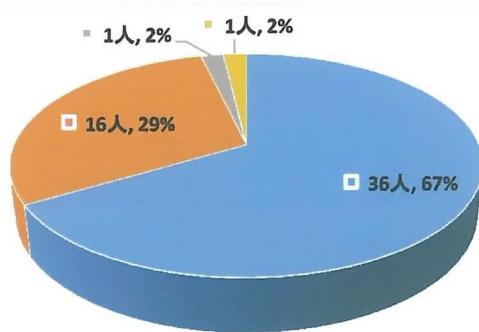
12 今まで、目のご不自由な方（視覚障がい者）のお手伝いをしたことがありますか。



13 目のご不自由な方（視覚障がい者）のお手伝いの方法はわかりましたか。



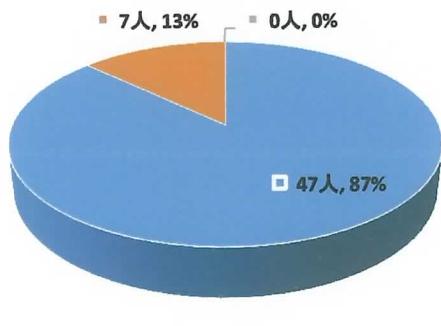
14 身近に、車いすを使っている人、目の不自由な人がいたら、今回のようなお手伝いをしたいと思いますか。



■お手伝いをしたい ■もう少し勉強してからお手伝いをしたい ■分からぬ ■無回答

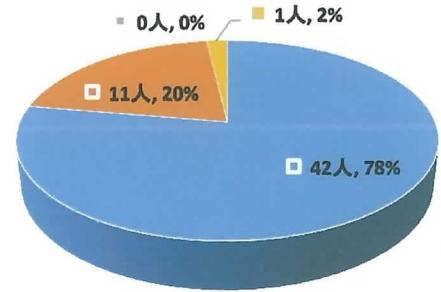
15 バスの乗り方・交通バリアフリー教室はどうでしたか。

◇バスの乗り方教室



■ 大変良かった ■ 良かった ■ 悪かった

◇交通バリアフリー教室



■ 大変良かった ■ 良かった ■ 悪かった ■ 無回答



## ◇ バスの乗り方・交通バリアフリー教室の感想

- ・バスの乗り方教室が楽しく勉強できてよかったです。
- ・バスで障がいをもっている方や妊婦さんがいたら、手伝いたいです。
- ・整理券やICカードの使い方がよくわかりました。
- ・バスの乗り方教室では、ふれあいバスはあまり乗らないので、こうやって乗ればいいんだということがわかりました。
- ・バスに乗ったことがなかったので、知らないことがいっぱいとても勉強になりました。  
車いすに乗っている人を見たことがないので、見かけたら助けてあげたいです。
- ・バスに乗ったことはありますが、もっと詳しくわかったので、これから利用する機会があったら、この勉強を生かして利用したいと思います。
- ・バスの入口にスロープがあるのは知っていたけど、今日初めて見ました。ノンステップバスの意味を知らなかったけど、今日でわかりました。
- ・路線バスに乗ったことがなく、知らないことだらけでしたが、バスの乗り方教室でよくわかりました。習ったことを思い出し、将来に役立つようにしたいです。
- ・バスに乗ったことがあまりないので、乗り方について知ることができてよかったです。  
バリアフリートラベルでは、車いすの人や視覚障がいの人はこんなに苦しいのかと思いました。  
貴重な体験をありがとうございました。
- ・下校中、視覚障がい者的人が歩いているのを見かけた時、「大丈夫ですか?」としか声をかけられなかったけれど、今は自信をもってやっていいんだなと思います。
- ・視覚障がい体験では、5cmほどの段差でも怖く、階段は、いつ、どのくらい足をあげればいいのか難しかったです。  
車いす体験では、曲がる時や段差の時など、少し怖かったです。
- ・今日の交通バリアフリー教室の視覚障がい体験で、目の見えない人はこんなに歩くことや障害物を避けることが大変なんだなと思いました。
- ・身近にいる視覚障がい者や車いすに乗っている人の気持ちがわかって、もう少し勉強してから、手伝いをできたらと思います。
- ・視覚障がい体験は何も見えないので怖かったです。視覚障がいの人を見かけたらお手伝いしたいです。
- ・目の不自由な方を誘導したいなと思いました。
- ・車いすの乗り方や操作の仕方がよくわかりました。
- ・目の見えない人の気持ち、大変さがよくわかりました。
- ・障がいがある人はこんなに怖いんだなと思いました。車いすのお手伝いの仕方もわかりました。
- ・目が見えない人にも、車いすの人にも声をかけてあげたいです。
- ・視覚障がいの体験をした時、とても怖くて良い経験になって嬉しかったです。  
車いすを使った時、段差を上がるのが大変で、こつを教えてもらい、よくわかりました。
- ・いろいろな事が学べたので、いろいろな人のお手伝いがしたいです。
- ・車いすでは、どのタイミングでブレーキをかけたら良いかわかり、もし自分が車いすに乗る時は、参考にしたいです。また、困ってる人がいたら優しく対応したいです。
- ・車いすに乗って動かす人の方が大変だとずっと思っていたけど、動かしてあげる人も大変などとわかりました。
- ・目の不自由な方の体験をして、とても怖かったです。目が見えないからずっと暗い中で生きてきたんだなあと思ってせつなくなりました。
- ・バスの教室では、今日のことを生かして小学6年生まで「こどもです」と言いたいです。
- ・説明がわかりやすくて、実際に出来たのでとてもよかったです。
- ・とてもわかりやすく勉強になりました。ありがとうございました。

広報やままた 12/号

## バスの乗り方・ 交通バリアフリー教室を開催

10月31日(水)、八街市地域公共交通協議会では千葉運輸支局との共催で、バスの乗り方・交通バリアフリー教室を笛引小学校4年・5年生を対象に開催しました。

普段バスに乗る機会の少ない子どもたちが、バス乗降の仕方やマナーを学んだり、車椅子や視覚障がい疑似の体験を通して、介助方法なども学びました。



11月 毎日新聞 朝刊

(第3種郵便物認可)

### 交通バリアフリー学ぶ

#### 八街で児童50人

公共交通協議会が毎年開いており、今年で4回目となる。児童らは交通バリアフリーなどをについて学ぶ教室が、八街市立笛引小学校であり、4、5年生の児童約50人が参加した。同市や県内のバス会社などでつくる市地域

マスクを付けたり車いすに乗ったりして介助する体験もした。4年の鶴岡心さん

(9)は「声をかけながら介助するのは難しかった」と感想を話した。  
【加古なみ】

アイマスクをして階段を下りたり介助したりする体験をする児童ら  
八街市

